

(2018年以降入学生:専門領域 実践必修科目)(2017年以前入学生:基礎領域 講義必修科目)

1. 科目コード

1251

2. 科目名

探究実践演習 (Tankyu Practice)

3. 担当教員

炭谷 俊樹 (Toshiki Sumitani)

4. 開講期

春1期

5. 科目の目的・概要

社会の課題を発見し、自らの強みや経験を活かしながら解決策を立案、実行して価値を生み出す「探究実践」の考え方を知り、実際に実践してみることを通じ、人間力を育成する。特定課題研究実行の基礎ともなる。実際に探究テーマを決め、同じテーマに興味のある学生同士のグループを構成し、社会価値を提供するための仮説の作成と検証を行う。

6. 科目の学習目標

- (1) 社会に存在する未解決の課題を発見する
- (2) 自分や人の強みや特徴を知る
- (3) 両者を組み合わせた探究テーマを発見する
- (4) 探究テーマについて、新しい価値提供の仮説を構築する
- (5) 探究テーマについて、新しい価値提供の仮説を構築する。仮説の独自性を検討する。収支面からの仮説の検証を行う
- (6) 以上をまとめ、プレゼンテーションを行う

7. 本学の教育目標と科目の学習目標との対応

教育目標			学習目標
高度ICT スキルの修得	基礎的素養		
	専門知識および業務応用力		
人間力 (=探究力) の修得	自ら強みを磨き続ける力		(2)
	自ら社会における 課題を発見し、 解決する力	課題設定	(1)(3)
		仮説立案	(4)
		仮説検証	(5)
		実行	(6)
		前に踏出す力	(1)(3)(4)
	社会人基礎力	考え抜く力	(5)(6)
		チームで働く力	(4)(5)(6)
職業倫理の修得			

8. 履修要件(前提科目)

なし

9. 教科書

「ゼロからはじめる社会起業」 炭谷俊樹 (Kindle版)

10. 参考書

「実践 課題解決の新技术」 炭谷俊樹 (PHP研究所)

11. 評価方法と配点

学習目標	達成度評価方法と配点					
	期末試験	小テスト	レポート	発表	成果物	その他
(1)			○		○	
(2)			○			
(3)			○		○	
(4)			○		○	
(5)			○		○	
(6)				○		
配点			30	30	40	

12. 備考

課外時間に、インタビュー等の調査を実践する必要がある。
授業に必要な資料の提示や演習の出題、提出等はMoodleで行う。

13. 授業計画

(注)授業計画は、あくまでも予定であり、実施時に、適時、追加・変更・修正等が生じる場合があります。

第1回 探究とは (講義90分)

「探究」の考え方、全体の枠組み、大学院生活および修了後の社会での経験との関係について述べ、探究の意義を理解する

- ・「探究」とは何か、その意義(30分)
- ・本科目の目的及び進め方(20分)
- ・探究事例紹介(40分)

第2回 テーマ設定(1)身近な体験からの着想 (講義&グループ実習 90分)

各自にとって身近な体験から探究テーマの候補を挙げる

- ・テーマ設定の概要説明(20分)
- ・個人のライフサイクルチャートの作成(20分)
- ・3名程度の小グループで各自の経験や興味についての相互インタビューの実施(30分)
- ・個人で興味のある探究テーマ候補のリストアップ(15分)
- ・次回に向けての準備説明(5分)

第3回 テーマ設定(2)テーマを広げる (講義&個人実習 90分)

自分以外の視点からもテーマの候補を挙げ、視野を広げる

- ・概要説明(10分)
- ・世の中の動きや課題・人の不満からの発想(30分)
- ・ICTを活用した課題解決の事例の調査(40分)
- ・個人テーマ候補の追加(10分)

第4回 テーマ設定(3)テーマを絞る (講義&個人実習 90分)

第2、3回でリストアップしたものから各自が最も興味のあるテーマ2〜3個に絞り込む

- ・概要説明(10分)
- ・絞り込みのための評価表の作成(60分)
- ・2〜3のテーマに絞り込み(15分)
- ・次回に向けての準備説明(5分)

第5回 テーマ設定(4)テーマの共有とグループ決め (グループ実習 90分)

個人が興味を持つテーマを全体で共有し、興味の近い学生同士でグループを構成する

- ・概要説明(10分)
- ・個人のテーマの発表・共有(60分)
- ・グループ決め(20分)

第6回 テーマ設定(5)価値創造の仮説作成 (講義&グループ実習 90分)

グループ内で問題意識を共有し、新しい提供価値の仮説を作成する

- ・概要説明(10分)
- ・グループ内での問題意識の共有(20分)
- ・新しい提供価値に関するアイデア出し(30分)
- ・新しい提供価値の仮説のまとめ(25分)
- ・次回に向けての準備説明(5分)

第7回 仮説検証(1)－1 受け手の視点	(講義&グループ実習 90分)
----------------------	-----------------

サービスの受け手視点での検証の重要性を理解する

- ・ グループで検討した仮説の発表・質疑(40分)
- ・ 3つの検証ポイント・サービスの受け手視点の説明(10分)
- ・ サービスの受け手など関わる人の洗い出し(グループワーク)(40分)

第8回 仮説検証(1)－2 インタビュー	(講義&グループ実習 90分)
----------------------	-----------------

グループの探究テーマ検証のためのインタビューを設計する

- ・ 概要説明(10分)
- ・ インタビュー設計(70分)
- ・ 次回に向けてのインタビュー実施説明(10分)

第9回 仮説検証(2)－1 独自性の視点	(講義&グループ実習 90分)
----------------------	-----------------

自らのサービスの独自性を打ち出すことの重要性を理解する

- ・ インタビュー検証結果のまとめ(60分)
- ・ 独自性の重要性と検討方法(15分)
- ・ 事例紹介(15分)

第10回 仮説検証(2)－2 独自性の検討と検証	(講義&グループ実習 90分)
--------------------------	-----------------

グループの探究テーマ検証のための他事例調査を実施し、独自性を検討する

- ・ 概要説明(10分)
- ・ 他事例調査(40分)
- ・ 独自性および追加検証項目の検討(35分)
- ・ 次回に向けての検証のための調査実施説明(5分)

第11回 仮説検証(3)－1 収支の視点	(講義&グループ実習 90分)
----------------------	-----------------

収支をとることの考え方を理解する

- ・ 検証結果のまとめ(60分)
- ・ 収支シミュレーションの考え方説明(15分)
- ・ 収支シミュレーションの事例紹介(15分)

第12回 仮説検証(3)－2 収支シミュレーション	(グループ実習 90分)
---------------------------	--------------

グループの探究テーマの簡単な収支シミュレーションを行う

- ・ 概要説明(10分)
- ・ シミュレーション実習(60分)
- ・ 追加検証項目の検討(15分)
- ・ 次回に向けての検証のための調査実施説明(5分)

第13回 提案(1) プレゼン資料のまとめ	(講義&グループ実習 90分)
-----------------------	-----------------

以上の検討結果をまとめ、プレゼンテーション資料を作成する

- ・ 検証結果のまとめ(20分)
- ・ プレゼン資料作成説明(10分)
- ・ プレゼン資料作成(60分)

第14回 提案(2) プレゼンテーション

(全体でのグループ実習 90分)

明快でインパクトのあるプレゼンテーションを行う

- ・ 前半グループのプレゼンテーション (1グループにつき、発表10分、質疑10分程度)

第15回 提案(3) プレゼンテーションと振り返り

(全体でのグループ実習 90分)

明快でインパクトのあるプレゼンテーションを行い、全体を振り返る

- ・ 後半グループのプレゼンテーション (1グループにつき、発表10分、質疑10分程度)
- ・ 振り返りセッション:これまでに学んだことを各自振り返り、レポートにまとめる